

令和7年度 学校案内

岡山県立倉敷まきび支援学校

校訓 「 夢へ みんなで まっすぐに 」



〒710-1301 倉敷市真備町箭田 4682-1

TEL 086-697-1233

FAX 086-698-2511

URL : <https://www.makibisien.okayama-c.ed.jp>

E-mail : makibisien@pref.okayama.jp

学校教育目標

一人一人の教育的ニーズに沿って、持てる力を高めるための適切な教育を行い、自立し社会参加できる児童生徒を育成する。

本校のミッション

○児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学習活動及び支援を行うことにより、生涯にわたって豊かな生活を送ることができる児童生徒を育成する。

○県南西部における特別支援教育のセンター的役割を果たし、地域の特別支援教育の充実と共生社会の実現に向けた取組をすすめる。

○関係諸機関と連携し、地域に貢献し地域とともに歩むコミュニティスクールとして社会に開かれた学校を目指す。

めざす学校像

- 生涯にわたって豊かに生きる力を育む学校
- 社会に開かれ、貢献する学校
- 児童生徒・保護者・教職員がともに育つ安全安心な学校

めざす児童生徒像

- 夢をもち、挑戦し続ける児童生徒〈意欲〉
- すずんで挨拶ができる児童生徒〈人とかかわる力〉
- 多様性を認め合い、地域社会の一員として、主体的に社会参加できる児童生徒〈自立と社会参加〉

各部重点目標

小学部

- 基本的な生活習慣を身につけ、健康な体をつくる。
- 学ぶ楽しさを知り、興味関心を拡大し、生活を楽しむ。
- 身近な教師や友達と主体的に関わろうとする力をつける。

中学部

- 社会生活に必要な基礎的能力や態度を身につけ、健康の保持増進に努める。
- 社会に関心をもち、生活経験の拡大を図る。
- 人との関わりを深めながら、社会参加への意識を高める。

高等部

- 自立や社会参加に必要な知識・技能を身につけ、積極的に生活に生かす。
- 社会生活、職業生活に必要な能力を身につけ、実践的に行動する。
- 豊かな人間性・社会性を養い、地域社会で主体的に力を発揮する。

児童生徒数（令和7年4月1日現在）

部 門	小学部	中学部	高等部	計
知的障害	123	51	160	334
肢体不自由	18	11	7	36
計	141	62	167	370

各部門・各学部の紹介

知的障害部門 小学部



日常生活の指導（朝の会）

友達に意識を向けたり、自分の役割を果たしたりすることをねらいに、出席調べに取り組んでいます。



生活単元学習

生活、音楽、図画工作など、様々な学習を関連させながら単元を組み、学習しています。



国語・算数

一人一人の実態、目標に合わせた活動に取り組み、「国語」「算数」の基礎となる力を身に付けています。

各部門・各学部の紹介

知的障害部門 中学部



美術

美術では、自分のイメージする作品を表現することができるように、自分で材料を選んだり、技法を学んだりしながら制作します。



保健体育

体育では、プール学習、器械運動、球技、マラソンなど、時期ごとに様々な活動を行います。ルールや、体を動かす習慣、楽しさを学びます。



作業学習

さきおり班、農園芸班、工芸班、手芸班に分かれて活動します。「分かる」「できる」を大切に、働く基礎の経験を重ねます。

知的障害部門 高等部



朝の運動（両コース共通）

体力の向上、心身の健康保持を目指して、職業・生活両コースが一緒に汗を流しています。ランニング、ダンス、筋トレ等を行います。



作業学習（生活コース）

紙工芸、木・竹工芸、手芸、製菓、農園芸、リサイクルの6班に分かれ、「自分でできた」という経験を積み重ね、自立と社会参加に必要な力を身に付けていきます。



専門教科（職業コース）

流通、フード、環境の三つのサービスに分かれ、職業生活に必要な力・態度を身に付けていきます。自ら行動できる、一緒に働きたいと思われる社会人を目指します。

肢体不自由部門

小学部



自立活動

一人一人の実態に応じて目標や内容を設定し、個別に取り組んでいます。身体の動きに関するを中心に、健康の保持を図ります。

中学部



課題別学習

一人一人の実態に応じて目標や内容を設定し、手先の巧緻性やコミュニケーション力など様々な力をつけていきます。

高等部



職業 家庭

道具を使用したりものを作ったり、簡単な作業をしたり、販売したりする活動を通じて、社会生活へと通じる力を培っていきます。

